

令和7年度 採用10年目職員研修 実施要領

- 目的 自己の能力や組織の中での役割を理解し、課題発見・解決力と政策力を持つ職員を育成する。
- 対象者 勤務年数10年目の職員
- 定員 各48人

		日程	会場	事前課題
1 日 目	9:30	●Aコース	令和7年6月18日(水) ~ 19日(木)	全コース : 当日持参
	}	●Bコース	令和7年7月1日(火) ~ 2日(水)	
	17:00	●Cコース	令和7年7月24日(木) ~ 25日(金)	
2 日 目	9:00	●Dコース	令和7年8月25日(月) ~ 26日(火)	
	}	●Eコース	令和7年9月1日(月) ~ 2日(火)	
		●Fコース	令和7年9月4日(木) ~ 5日(金)	
	16:00	●Fコース(日程変更後)	令和7年10月29日(水) ~ 30日(木)	

カリキュラム

A・B・Cコース	<p>概要: これまでの仕事を振り返り、組織の中での自分の役割を考えるとともに、主体性を発揮し、チームに貢献する意識の向上を図ることで、仕事のやりがいや楽しさにつなげる。</p> <p>講師: 一般社団法人日本経営協会 講師 代田 敬子</p> <p>講師から: 10年目となると、仕事のことも組織のこともよくわかり、自分なりの仕事のやり方が形作られていると思います。この研修では、そうして積み重ねてきた経験を、同じ年月様々な経験を重ねてきた人たちと分かち合うことで、歩んできた道のりの意味を探求します。</p> <p>また、自己理解や他者理解のワークを通じて、今後期待される役割を担うための自分の活かし方も見つけます。節目となるこの機会にしっかりと足場を固め、新たなステージに向かうための2日間にしていきましょう。</p>
キャリアの棚卸しと 良好な人間関係の築き方 ~チームの中で自分らしさを 活かすために~	
D・Eコース	<p>概要: 地方創生における職員の役割を認識する。また、事例を通じて客観的に物事をとらえ、地域課題の発見・分析・解決へと導く政策について考える。</p> <p>講師: 関東学院大学法学部 教授 牧瀬 稔</p> <p>講師から: 本研修は、政策づくりのための基本的な思考をご紹介します。私自身が、地方自治体の政策づくりの現場に入り、実際に使ってきた手法になります。もちろん、成功事例だけではなく、当然、失敗事例もあります。(本当は、失敗したらまずいのですが…)</p> <p>本研修では、成功事例や失敗事例も紹介します。そして、そうなった要因を分析します。本研修は、自治体職員が持つべき最低限の政策思考を講義したいと思っています。</p>
地方創生と政策づくり	
Fコース	<p>概要: 政策形成に必要な基礎知識を学び、課題の把握や分析など具体的な手法を実践的に習得することで、政策形成能力の向上を図る。</p> <p>講師: 一般財団法人地域開発研究所 客員研究員 菅原 優輔</p> <p>講師から: 本研修は、ワークをとおして政策立案の流れを体験いただくことで、政策立案に親しみを持ってもらうことを目的に実施します。ごみ屋敷問題やヤングケアラー問題など、現在話題となっている問題に触れつつ、DXやEBPMなど、政策形成のあり方に影響を与えている変化にも時間の許す限り言及したいと思います。みなさんと一緒に新しい地域課題を発掘し、的確な解決手段を捻出していきたいと考えています。</p>
住民福祉の向上と 政策づくり	

※採用10年目職員研修は、講師によりそれぞれ研修内容が異なります。日程のみでなく、自身の業務内容とカリキュラムを確認して選択してください。